

研修(研究)報告書

令和 3 年 3 月 3 / 日

玉名市議会
議長 内田 靖信 様

氏名 作本 章 男 (作本)

下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

参加議員	作本章男、中尾嘉男、近松惠美子、西川裕教、右俣俊男、坂本		
日時	平成 3 年 1 月 12 日(火) ~ 平成 年 月 日() (午前) 午後 10 時 分 ~ 午前・午後 12 時 分		
場所	玉名市の 4F 第 1 委員会室	参加者数	42人
研修(研究)事項	発達障害に対する対応		
概要及び所見	<p>同一会派の近松城の友人で、現在出雲で子育園を開園 されている前島由美先生を会場に6名で講師としてお迎えし、 市内の保育園の関係者や、市庁内関係職員の方々に 参加頂き、子育てが楽になる、子育てを楽しくする、輝きを取り 戻す発達障害の子どものこと、お母さんの食を大切にする、 12月20日の講演会を開催した。玉名市は、現在急増 している発達障害の子どもの対応に改善策を 取り、核家族化や、親の愛情不足も発達障害に影響を与え、 自閉症や、学習障害、アスペルガー症候群等も発生している。 お母さんの食を大切にするというお話があった。栄養豊富な食や、 餅を子ども達に提供し、鵜、みどり、セキ、ウサギ、犬、猫飼育 自然栽培、有機栽培の卵、お米や野菜など、かたがた、お話を 聞く等者の生活体験や、食生活改善の取り組みで、発達障害の 対応の子どもの対応、障害の改善についてお話しがあった。 玉名市は、有機野菜の利用や食生活改善の取り組みを</p>		

～講演会～

子どもが変わる 未来が輝く！

輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち

日時 令和3年1月12日（火）午前10時から12時

場所 玉名市役所4階

講師 前島由美先生（ゆめの森子ども園）

前島由美先生のプロフィール

25年間保育士として保育園に勤務。その時に、オーガニックな保育園の給食でアレルギー症状が改善していくのを実感。2011年保育士の仕事から療育支援へ移行。急増する発達障害児の原因を探る中、脳内アレルギートンと脳の栄養障害という言葉を耳にし、「食べなきや危険」との出会いで著者の国光美佳氏とともに食の見直し（ミネラル補給）による改善に取り組み。

2013年、出雲大社の神気に包まれる地に、天然自然素材の古民家風日本家屋を新築。衣食住の音体験を療育に取り入れるべく古民家ゆめの森子ども園を開園。

ミネラル豊富なおやつや食事を子どもたちに提供しながら、鶏、みつばち、ヤギ、ウサギ、犬、猫の飼育、自然栽培によるお米や野菜づくり、カマドでごはんを炊く等昔の生活体験や安心できる居場所づくりで現在小1～高校生まで30数名の発達障害と呼ばれる子どもたちを改善に導いている。

2019年、11月に保護者、学校長、スタッフなどの審稿とともに、「輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち」を出版。

主催 玉名市議会 新生クラブ

玉名市においても急増している発達障害と言われる子どもたちに対して、何か改善の方法はないものか、と考えていたところ、前島先生の著書に出会い、今回、現場の方々学び意見交換するなかで、このことについて市が積極的に取り組むように我々も効果的な施策を打ち出していきたいと考えております。



ゆめの森子ども園
愛の関わりと連携の実例集

輝きを取り戻す

“発達障がい”と呼ばれる
子どもたち



感覚過敏からくる問題行動や不登校――

苦しい状況に置かれた子どもたちを救う、
ゆめの森子ども園の取り組みを紹介！

● ここには愛の関わりと食療指導、学び・音楽・支援者の連携が盛り込まれています。
● 音楽とゆめの森の連携で実践した療育実践
● 小学発達障がいとの関わりで輝きを取り戻す実践事例
● 著者に書かれる買物・相談への具体的な指導



ゆめの森子ども園代表
前島由美 著